

光州広域市

光州(クァンジュ)は韓国・湖南地方の交通の中心地として、古代から華やかな文化と産業の花を咲かせてきた。かつては韓国西南地方の全羅南道(チョルラナムド)に所属していたが、1986年に直轄市として分離し、1995年光州広域市と改名された。2002年には日本の仙台市と姉妹都市提携を結び、文化やスポーツ等幅広い分野にわたって交流を続けている。

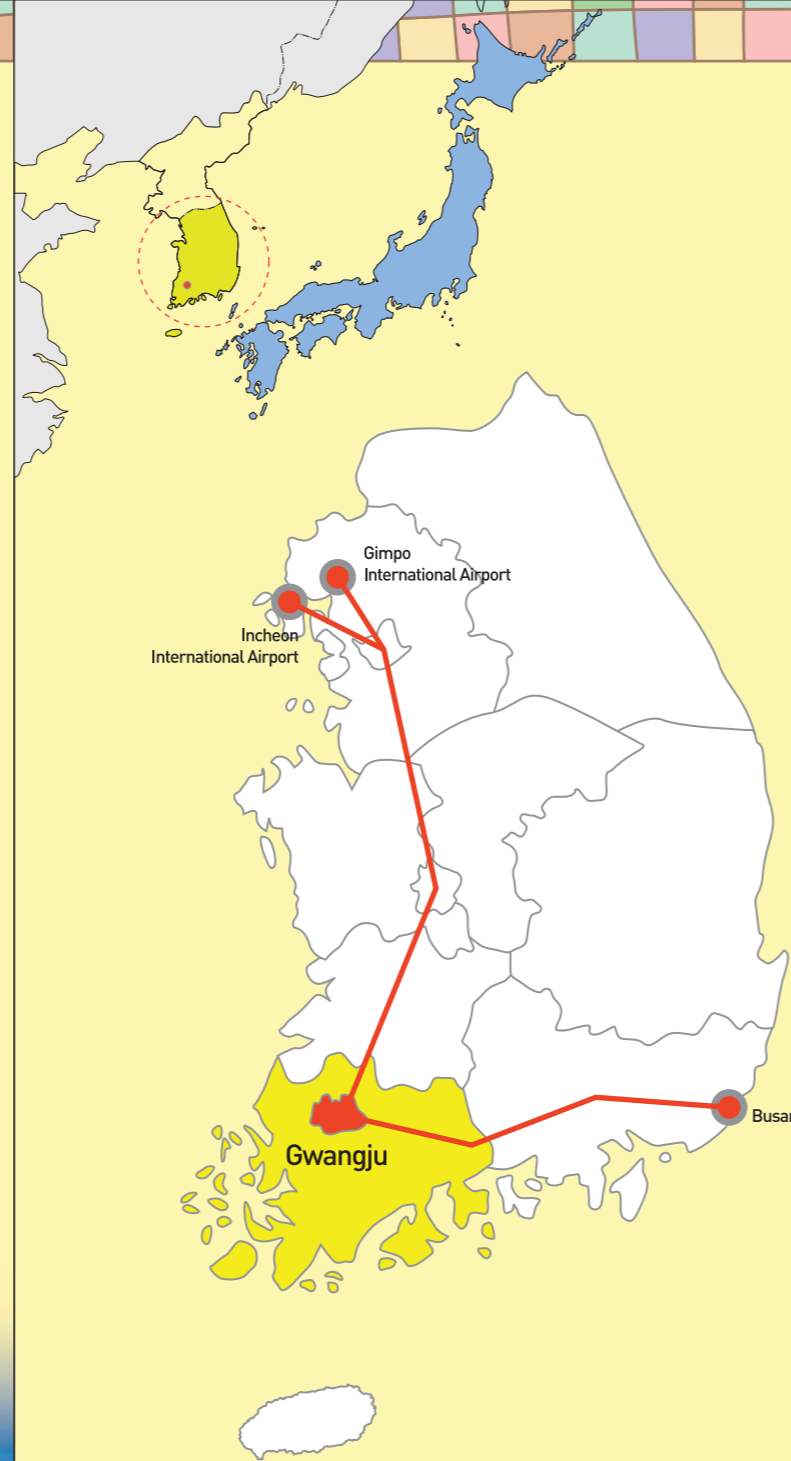
また光州市は韓国民主化運動の拠点の地であり、1980年5月には当時の軍事政権の暴圧と不義に対し義をもって戦い、正義・民主主義・人権・自由を守るために多くの市民が血を流す悲劇の舞台となった。現在5月18日は国家記念日に制定され、光州市はその精神を継承し世界的な民主化の聖地として更なる発展を遂げるため、5.18墓地聖域化事業などの記念事業を積極的に進めている。

その一方、光州市は文化・芸術の都市としても有名で、学識ある官僚や詩人、書家を多数輩出している。1995年より世界的な美術の祭典である「光州ビエンナーレ」を隔年で開催し、韓国の文化芸術を世界に広めるための活動を積極的に行なっている。

全南大学校

全南大学校は1952年に設立された全国でもトップ10に入る研究力を備えた国立大学であり、韓国成長の原動力となる優秀な人材を輩出している。現在17の単科大学と11つの大学院、さらに世界40カ国から約1,000名の外国人留学生を含む計37,000名の学生が在学している。

2008年9月には大学教育の国際化の流れに伴い新たに国際協力本部を新設し、世界35ヶ国約170校の姉妹大学との学術及び人的交流を通じて、世界的な人材を育成する大学として更なる発展を目指すとともに、より充実した教育内容で地域に希望と感動を与えるため、たゆまぬ努力を続けている。



Office of International Affairs
Chonnam National University

77 Yongbong-ro, Buk-gu Gwangju 500-757, South Korea

Tel: +82-62-530-1271 / Fax: +82-62-530-1269

Website: <http://international.jnu.ac.kr/jp>

Email: international@jnu.ac.kr

国立全南大学校

2012 国際冬期学校

(International Winter School)



全南大学校
国際協力本部

광주국제교류센터
Gwangju International Center

国際冬期学校

国立全南大学校では、2009年から毎年2月と8月に日本の大学生を対象とした「国際夏・冬期学校」を開催しています。本プログラムは午前中の韓国語の授業と午後に行われる韓国文化体験を基本とし、全南大学校の学生との交流の場を提供することで教育的だけではなく、国際交流に於いても充実したプログラムとなっています。

日程の紹介

時 間	活 動 内 容	時 間	活 動 内 容
08 : 00	朝 食 (自由)	14 : 00	韓国文化体験 (14:00 ~ 17:00)
09 : 00	韓国語の授業 (09:00 ~ 12:00)	15 : 00	
10 : 00		16 : 00	
11 : 00		17 : 00	
12 : 00	昼食及び休憩 (12:00 ~ 14:00)	18 : 00	夕食および自由時間
13 : 00		19 : 00	

※上記日程は変更になる場合もございますので予めご了承ください。

2012国際冬期学校の文化体験内容

タイトル	内容	詳細
基本プログラム	オリエンテーション	キャンパスツアー、国際理解教育
	レクリエーション	参加者の紹介、団体ゲーム、クイズ大会
	修了式	表彰式およびクラス別出し物
文化ワークショップ	日・韓相互理解	両国の文化の相違点の理解
生活文化	伝統服装体験	伝統衣装の着付けおよび伝統礼節教室
	食文化	韓国料理作り
	ホームステイ	韓国家庭文化体験
	伝統市場	チーム別ミッションクリアゲーム
芸術文化	韓国サウナ	チンジルバン体験
	伝統音楽	プンムル (民俗音楽) 体験および公演観覧
地域歴史文化	大衆文化	K-pop教室
	韓国民主義歴史	近・現代史の講義、5.18民主墓地参拝
旅行	全羅南道旅行	王仁博士遺跡地、「高麗青磁」陶窯址、棠安邑城等
	ソウル旅行	韓屋 (韓国伝統家屋) 村、独立記念館、景福宮等

※上記日程および体験内容は予定であり、現地事情や天候により変更される可能性があります。

費用(単位:ウオン)

区分	費用
韓国語の授業	400,000
文化体験 旅行費用 保険料	650,000
宿食料 (昼食含む)	250,000
合計	1,300,000

※支払いの方法は現地での現金払いとさせていただきますので、予めご了承ください。

寄宿舍

位置	部屋の構成	設備
キャンパス内	二人1部屋の相部屋	ベット、トイレ・シャワー洗面付、有線LAN接続可

仁川国際空港から全南大学校までの移動方法

場所	備考
仁川国際空港の到着ゲート	－午後2時までは仁川国際空港に到着すること －「国際冬期学校」と記載されたチケットを持つアシスタントが出迎え (高速バス代：30,900ウオン)
移動	－仁川国際空港から光州広域市までは約4時間 30分所要 (高速バス) －出発から約2時間後、サービスエリアでの休憩あり (約10～15分)
全南大学校	－学校到着後、アシスタントの案内に従い寄宿舍に入居

申し込み

1. 募集定員
学校ごとに定員数が異なりますので、募集人数をご確認の上応募してください。
2. 締め切り
2011年11月25日 (金)
3. 申請方法
申請書 (指定用紙)、パスポートのコピーを所属大学の担当者に提出してください。

2011年度 国際夏期学校 参加者の声(一部抜粋)

福井県立大学 - 佐藤絢夏 様

今回私がこのプログラムに参加したいと思ったのは、語学力の向上や、文化体験、国際交流などの目的があったからです。韓国語で行われる授業に対して多少の不安もありましたが、授業では今まで知らなかった単語や文法を学ぶことができ、午前中の授業で習ったことを午後に韓国人の友人に対して使うことで、より早く習得することができました。この国際夏期学校を通して、ここには書ききれないほど多くのものを得ることができ、本当に参加してよかったと思います。

大阪市立大学 - 上野誉枝 様

私がこの全南大学校での留学で得たものは大きく3つあります。一つ目は普通の韓国旅行では訪れることなかったであろう博物館や記念館をたくさん見ることができ、貴重な体験の時間になったことです。もうひとつは韓国人の良さを知り、日常的な韓国文化を学習したことで韓国でも暮していけるかも知れないという大きな自信を得たことです。そして最後に、この夏だけでの思い出で終わるのではなく、これからの未来に繋がるチング (友達) という宝物を得ることができたのが私にとって一番の成果でした。

東北大学 - 池ヶ谷俊介 様

今回このプログラムに参加し、とてもよい経験をすることができました。プログラムの期間中は韓国人の学生達とお互いに文化や言葉を教えあうことの連続で、日が経つにつれ韓国語の能力を伸ばすことができ大変満足いく体験でした。この3週間は長いようでいて短い期間でしたが大変密度が濃く、充実して行く前の自分とは比べ物にならないくらい人間的に成長できたと思います。

